

平成 27 年度 全国学力・学習状況調査

理科

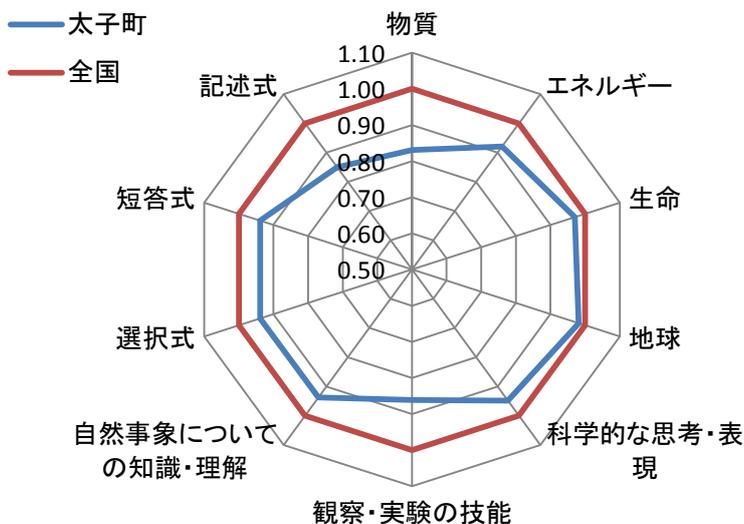
正答率比較



全国の平均正答率が、60.8%であるのに対し、太子町の平均正答率は56.5%であり、4.3ポイント下回った。

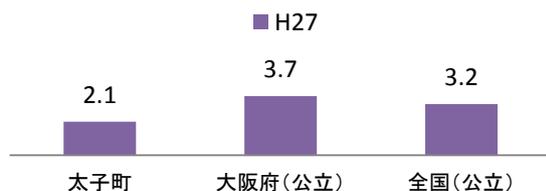


全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率との比較



「生命」「地球」に関する問題は全国平均に近い正答率となっている。「物質」や「観察・実験の技能」での値が低く、また記述式の問題でも正答率が低くなっている。

無解答率



全国平均よりも 1.1 ポイント低くなっている。問題を解答しようとする意欲が高いことが見えます。



成果と課題

水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解しているかを問う問題や星座や雲の動きについて観察記録をもとに考察・分析する問いでは、高い正答率であった。

しかし、メスシリンダーの名称を答える問題やその扱い方、顕微鏡の適切な操作方法など実験や観察などの実技に関する問題での正答率が全国平均よりも大きく下回った。日頃の授業において、きちんと実験器具などを取り扱い、適切な使用方法を確認する必要がある。